

11月30日に令和4年第6回富里市議会定例会が開会いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、この2年間様々なイベントが中止を余儀なくされておりましたが、去る11月20日に、例年11月開催の産業まつりを始めとする5つのイベントを併せ「市制20周年記念とみちゃん秋まつり」を開催させていただきました。

「心をひとつにして躍動するとみさと」をスローガンに掲げ、コロナ対策を講じた上での実施となりましたが、当日は、七栄親子祭りの山車が出るなど、富里の魅力である食や文化などに触れていただき、地域の皆様との交流や子どもたちの笑顔を見ることができました。

一方で、新型コロナウイルス感染症は、全国的に新規感染者数が再度、増加傾向に転じており、これからは、インフルエンザとの同時流行も懸念されます。

12月に入りますと、多くの人と会う機会が増え、また、気温の低下とともに換気が不十分となり、感染リスクが上昇することも考えられます。

今後も引き続き、市民の皆様には、基本的な感染防止対策に御理解・御協力をお願いいたします。

#### (1) とみさと元気なまち宣言について

令和4年10月8日に開催した、市制20周年記念セレモニーに

て、市制20周年を契機に、今後も「躍動するとみさと」であり続けるために、希望と活力ある元気なまちに発展するよう、「とみさと元気なまち宣言」を行いました。

宣言後においては、広く市民の皆様にご覧いただくため、各種イベント会場などで掲げる「のぼり旗」のデザインを、日本大学芸術学部デザイン学科の学生に作成していただき、過日開催された

「とみちゃん秋まつり」、「富里にんじんウォーク」においても、参加者の皆様にPRを行ったところです。

今 後も、宣言の周知を図るとともに、「元気なまち とみさと」を目指し、「食・運動・地域」に関する取組を相互に展開してまいります。

## (2) 都市計画提案制度による企業立地について

既に御報告のとおり、本市で初となる都市計画提案制度による酒々井インターチェンジ隣接地の「東京中央木材市場 株式会社」の工事が円滑に進められており、本年12月には完成し、令和5年2月にオープン式典を行う予定と伺っております。

また、都市計画提案制度により、新たに御料葉山地区において、敷地面積規模で約2ヘクタールの複合型商業施設の建設工事が、「株式会社ベルク」により、令和5年秋頃の完成に向け着手されました。

「株式会社ベルク」は、埼玉県を中心に、関東地方で130店舗

を展開するスーパーマーケットであり、千葉県でも、すでに19店舗が出店されています。

本市においても、この立地計画が進むことで、スーパー等の生活利便施設の充実が図られ、周辺地域の生活利便性を高めるとともに、葉山地区の地域拠点としての機能強化にもつながることから、住み良いまちづくりの形成に、大きな効果が期待されるところであります。

今後も、積極的な企業誘致の実施により、「産業振興の充実や雇用の拡大」が図られるよう、取り組んでまいります。

また、11月25日に、千葉県議会に議案として、「都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する条例の一部を改正する条例（案）」が提案されました。

これは、本市より、千葉県に対し粘り強く提案を重ね、協議を進めてきたもので、可決された後に、令和5年3月の施行を予定していると伺っております。

改正予定の条例案は、千葉県内7市町が対象となり、各市町の都市計画マスタープランに位置付けられた産業拠点等の実現手法が追加され、市街化調整区域への流通業務施設や工業施設の立地基準が新たに加わることとなっております。

千葉県条例改正の実現は、市街化調整区域が9割以上を占めている本市の、都市計画マスタープランに描いた将来都市像の実現のために、大きく寄与できるものと期待しております。

### (3) 富里小学校学童クラブについて

市内において、七栄小学校並びに富里小学校の一部児童については、長年にわたり若草児童館により学童クラブの役割を果たしていただきました。

一方で、安全の確保などの観点により、学校敷地内への設置が望ましいことから、すでに七栄小学校については、校舎内の一部を改修し、学童の運営を行っております。

また、富里小学校においても、校舎内で学童クラブの運営を行っておりますが、新たに、学校敷地内に学童クラブを設置するため、令和4年11月21日に、建設工事請負契約を締結し、12月上旬から建設工事が行われる運びとなっております。

今後は工事に先立ち、12月2日（金曜日）に、工事請負者主催の安全祈願祭を予定しており、引き続き、令和5年4月の供用開始に向け準備を進めてまいります。

### (4) 食農学習について

基盤産業である農業の振興と教育の充実を図るため、明日12月1日（木曜日）、富里南小学校3年生の児童を対象に、食育と農業に視点をおいた「食農学習」を開催いたします。

本市ではこれまで、国の「みどりの食料システム戦略」の取組が加速する中、諸外国の農薬規制の広がりに的確に対応していくことが

求められていることから、生産者・千葉県・農協・企業等と連携し、「農薬に頼らない 病気に強い土づくり」の試験を行ってまいりました。

今回、市・JA富里市と市教育委員会が連携し、市農林業センターの試験ほ場で栽培しているニンジンを活用した収穫体験を通じて、農業の面白さ、難しさ、収穫の喜びを感じるとともに、「食」が持つ多様な役割の大切さを学ぶ学習会として開催いたします。

#### (5) 『スマイル富里魅力発信事業』について

包括連携を締結している日本大学芸術学部との連携事業として展開しており、締結以降、すいかやニンジンのポスターを始め、様々な場面で連携事業を実施している中で、特にニンジンにおいては、電車の中吊り広告で注目を集めてから、今や脇役から主役へと変わっております。

本年も、さらにブランド化に向けた取組として、「ニンジンのポストカード」の作成に御協力をいただき、12月から「末廣農場」において、ポストカードの無料配布による「富里ニンジン」のPRを行ってまいります。

また、「富里市×日芸コラボのポスター展」として、6月に「末廣農場」にて実施しました「すいかのポスター展」に続き、来年の2月を目途に「馬のポスター展」の開催に向けて、現在調整を図っております。今後も日本大学とのつながりを大切にし、連携事業と

して、富里市の魅力を発信してまいります。

#### (6)「冬の陣・富里のラーメンでアツくなれ！」について

市内の見慣れた景色も、市外の方からは新鮮であり、輝きや魅力を映し出すことが多くあるとの思いから、今後は市民との協働により、一つ一つの景色を内外に発信することも重要と考えます。

そこで最初の試みとして、12月1日から28日までの約一か月間、「冬の陣・富里のラーメンでアツくなれ！」と題し、ラーメン店の店主との協働で、自慢の一品を力強く調理している姿のポスターを「末廣農場」に展示いたします。

ラーメン店は、全国で3万店以上あるといわれ、国民食と呼ばれるほどラーメン好きの方が多いといわれています。そのような中で、市内の各ラーメン店の来訪者の中には、インターネットやSNSなどの情報を基に、遠方から訪れたり、市外からのリピーターも多い傾向にあります。

この、富里のラーメン店を、本市の数ある魅力の一つとして、「末廣農場」に立ち寄った来訪者に、次に訪れる場所としてアナウンスすることで、更なる魅力の発信とともに、関係人口の創出に繋がるものと考えております。

今後も「末廣農場」などを活用し、様々な景色にスポットを当て、市民挙げての魅力発信の充実を図ってまいります。

## (7) 旧洗心小学校利活用について

これまで、地域コミュニティや地域活動の拠点となっていた施設である経緯を踏まえて、市が跡地の利活用について、地元の洗心まちづくり協議会を交え、民間企業とのヒアリングを実施するなど検討を重ねてまいりました。

一方で、小学校開校時から抱えていた課題の整理や、ヒアリングから判明した老朽化対策を踏まえると、利活用においては、将来的に地域としても必要とされる施設を前提に、優先的に、取り組むことが望まれると判断をいたしました。

そこで、この度、公募型プロポーザルを実施し、事業者を募集することで、地域活性化や住民福祉の向上に資する事業により、地域の人が集い、憩いの場として交流を促す魅力ある地域づくりにつながるものと考えております。

## (8) 公共交通体系の拡充としての新たなデマンド交通について

多様化する市民の移動ニーズや高齢化への対応などの課題を解決するため、10月1日からリニューアルした、デマンド交通の登録者でございますが、市民への周知を開始した7月1日から、11月24日までの約5か月間で、1,403人の新規登録があり、利用登録者総数は3,012人となりました。また、10月1日から11月24日までの利用人数は2,666人と、多くの方に御利用い

ただいております。

なお、市民ニーズを受け、12月1日から「湯山整形外科」に乗降ポイントを追加し、乗り入れを開始いたします。

また、より多くの市民に御利用いただくために、現在、日本大学理工学部の御協力により、デマンド交通のシンボルマークを作成していただき、3点の作品から市民や利用者の投票により1点を決定していく予定でおります。

さらに、デマンド交通に、より親しんでいただくため、年明けには小学生を対象に、デマンド交通の愛称を募集する予定であり、来年度当初には、車両や停留所を始め、様々な場面でシンボルマークと愛称を活用してまいります。

今後、引き続き、利用しやすいデマンド交通になるよう努めてまいります。

#### (9) 富里市DX推進計画（デジタルデバイト対策）について

「市民にやさしいデジタル化」の実現を目指す、富里市DX推進計画の方針の一つであります。デジタルデバイト対策につきましては、インターネットなどの情報通信技術の利用が不慣れな方や利用に不安を抱える方が身近な場所で学習が行えるよう、民間事業者と連携し、きめ細かなデジタル活用支援に取り組んでいるところで

今年5月には、初心者向けスマートフォン講座を富里中央公民館



と富里北部コミュニティセンターで開催し、多くの方に御参加いただいております。

また、今後につきましては、令和5年2月にも、同じく、同施設を会場に、民間事業者と連携したスマートフォン講座の開催に向け準備を進めておりますので、詳細が決まり次第、御案内させていただきます。